



針路

しんろ

冬休み直前号

2020年12月23日

進路指導部：坂口

次のステージの準備を

12月24日（木）から、20日間の冬休みが始まります。今年の冬休みは、コロナ感染拡大の影響で不要不急の外出は控えた方が良いでしょうから、自分の時間がたっぷり作れそうですね。

さて、3年生は、次のステージへの準備や自動車運転免許の取得等で忙しくなる人も多いと思います。そのような中でも、時間を見つけて、高校生のうちに社会生活を送る上で必要な習慣や常識、生活上のスキルを身に付けてください。4月から自宅を離れて、新生活が始まる人もいますよね。少なくとも、「体調・時間・物を管理する習慣」や「自分からあいさつをする習慣」、そうじや洗濯といった「最低限の生活スキル」は身に付けておきましょう。家のお手伝いをしてください、ということですよ。

職業選びの着眼点

私事ですが、進路指導部という立場上、いろいろな職業に関する情報に反応するようになってきました。当たり前のことを言うようですが、世の中の職業には、「何気ない日常」を支える役割を担う職業と冠婚葬祭や娯楽イベントなどの「人生における特殊な行事」を支える役割を担っている職業とがあるように思われます。この両方の職業が、私たちの人生や生活を豊かにしたり、支えたりしているのは間違いありません。1・2年生は、冬休み明けに宿泊研修・見学旅行を控えていますよね。これらの行事は、日常ではなく「特殊な行事」にあたると思いますが、旅行業やホテル・観光業など、さまざまな職業の人々が関わっているはずです。

社会に出て働くならば、「職業を選ぶ」という選択の場面は、近い将来、必ずあなたに訪れるはずです。職業を選ぶ際の着眼点は、「仕事の内容」「勤務地」「給料」など様々でしょうが、人々の「何気ない日常」を支えるのか、それとも人生の「特殊な行事」を支えるのか、そういった視点で職業を眺めることもできると思います。冬休みの間に、自分なりに自分の人生を思い描いたり、保護者の方と自分の進路について話し合う機会があったりしても良いのではないのでしょうか。特に2年生は、2月以降に進路指導部の先生との進路面談が控えています。自分の進路希望とその理由について、自分のことばで語れるようになると良いですね。

身近な幸せのために

高校卒業後に就職を希望している人は、3年生になると「履歴書」を書くこととなります。その中に、なぜその仕事を選んだのか、という「志望の理由」を書く欄がありますが、その中に「周りの人たちの役に立ちたい」ということを書く人が少なくありません。言うまでもなく、人の役に立たない仕事は、もはや仕事ではありません。ただ、「人の役に立ちたい」「人を幸せにしたい」という思いを持つことはとても大切です。私の思う人を幸せにする手っ取り早い方法は、「身近な場所や物をそうじする」ということです。教室を掃除する。黒板をきれいにする。床の汚れを拭き取る。掃除をしても他の人は気づかないかもしれませんが、「人を幸せにする」「人を支える」とはそういうことだと思います。